

2020年度 明治大学と大阪大学・京都府立大学・関西大学との
考古学・古代史大学院生研究交流プログラム

進行表

日時:2021年1月9日(土)

会場:大阪大学豊中キャンパス 文法経済学部本館 大会議室

1月9日

- 10:30-10:35 開会挨拶・趣旨説明 佐々木憲一(明治大学教授、考古学)
- 10:35-11:00 佐藤兼理(明治D1) 拡張住居からみる南関東の弥生集落
- 11:00-11:05 質疑
- 11:05-11:30 吉木誉絵(明治M1) 楯築墳丘墓と西谷3号墳丘墓の比較
—古墳出現前段階における広域連携の形成過程を求めて—
- 11:30-11:35 質疑
- 11:35-12:00 岡田大雄(京都府立M2)横穴式石室石材の入手と利用—京田辺市シオ1号墳の調査成果から—
- 12:00-12:05 質疑
- 12:05-13:00 昼食休憩**
- 13:00-13:25 米田晏花(明治M1) 古墳時代集落における高床式建物の存在形態—黒井峯遺跡の再分析
- 13:25-13:30 質疑
- 13:30-13:55 関イ初(明治M1) 龍鳳文環頭大刀編年の再検討
- 13:55-14:00 質疑
- 14:00-14:25 岩崎郁実(大阪M1) 古墳時代中期後半における大阪湾岸系製塩技術の地方波及
- 14:25-14:30 質疑
- 14:30-14:45 休憩
- 14:45-15:10 岡田康佑(大阪D2) 八世紀の賑給対象者に関する基礎的考察
- 15:10-15:15 質疑
- 15:15-15:40 越川真人(明治D3) 摂関・院政期大内裏の空間構造と機能的特質—官衙施設を中心に—
- 15:40-15:45 質疑
- 15:45-16:10 田中詢弥(関西M1) 16世紀後半から17世紀初頭にかけての惣構の研究—構造・機能・系譜を中心に—
- 16:10-16:15 質疑
- 16:15-16:35 感想戦(皆さんのコメントなど)
- 16:35-16:40 閉会挨拶(大阪大学)